

## 「安全上問題があると判断したときは試問をやめてもらうように言えばよい。」会社回答

6月30日、本部は定期大会での決定を受けて、業務委員会において安全対策の確立を強く主張した。設備面ではATS-Pの導入と曲線におけるATC制御による速度制限、人的には試問・裏面添乗・乗務停止・フォロー試験・再教育の中止などを求めた。(細部は業務速報 517参照)。まずは試問に関して。

組合：乗務点呼時、添乗時の試問は必要ない。

会社：会社が必要と判断している。

組合：安全上問題あるからやめろと言っている。

会社：なぜ試問が安全上問題あるのか理解できない。

組合：例えば、乗務中に試問されれば注意力が散漫になり制限喚呼が遅れたり速度オーバーすることがある。

会社：安全上問題があると判断したときは試問をやめてもらうように言えばよい。

組合：指導助役は運転士の資格を有しているにもかかわらず、喚呼時期が近づいたときにあえて試問している。

会社：やめるように言えば試問はやめているはずである。

### 乗務点呼時の試問も同じだ！

### そもそも人を試すことが問題なのだ！

### 社員を思いやることができないのか！

試問のプレッシャーをやめろ  
「やめて下さい」と声を出そう！